

青森県	機関名	青森県
	部署名	環境生活部 県民生活文化課 文化・NPO活動支援グループ
	電話連絡先	017-734-9208
事業名	高校生ファッションチャレンジ事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
創造力豊かでチャレンジ精神あふれる人材の育成や、産業・地域の活性化を図るため、「全国高等学校ファッションデザイン選手権大会(ファッション甲子園)」を毎年度開催している。		
※平成 12～16 年度は県主催、平成 17 年度からはファッション甲子園実行委員会主催(県は実行委員会構成員として開催支援)		
【第 21 回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会 (ファッション甲子園 2022)最終審査会】		
・期 日:令和 4 年 8 月 28 日(日)		
・場 所:弘前市民会館		
・出 場:33 チーム(ファッションデザイン画の応募総数 2 108 点(全国 83 校)から選ばれた 33 点)		
・審査員:著名なファッションジャーナリストやファッションディレクター等		
※YouTube ライブ配信視聴数:5 000 回		
<参考 URL> http://www.f-koshien.com/		
		
		
令和5年度実施予定		開始年度
継続して実施		平成 12 年度
		予算額
		11 000 千円(全体予算額 23 357 千円)



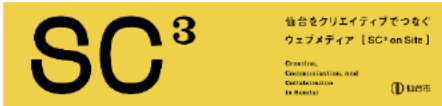
青森県	機関名	八戸市
	部署名	商工労働まちづくり部商工課
	電話連絡先	0178-43-9242
事業名	知的財産権対策支援事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
知的財産の保護及びその戦略的な活用に係る課題を抱えている中小企業者を対象として、弁理士による無料相談の実施、セミナーの開催及び国内特許等出願費補助金の交付を行っております。		
・弁理士による無料相談 知的財産権全般に係る相談を無料で受け付けております(要事前予約)。		
・セミナーの開催 知的財産権の基礎についてのセミナーを年3回程度開催しております(参加無料)。 会場:八戸インテリジェントプラザ(八戸市北インター工業団地1-4-43) 講師:弁理士 富沢 知成 氏(㈱八戸インテリジェントプラザ 知的財産アドバイザー)		
・国内特許等出願費補助金の交付 国内特許、国内実用新案及び国内意匠の出願を行う中小企業者(八戸圏域連携中枢都市圏構成市町村内のものに限る。)を対象として、出願に係る経費の一部を補助する。 補助対象経費:出願に必要な特許庁出願料及び弁理士経費 補助金上限額:(特許)15万円 (実用新案)10万円 (意匠)5万円(2件まで)		
【申込先(3件共通)】 ㈱八戸インテリジェントプラザ(八戸市北インター工業団地1-4-43) 電話:0178-21-2111 ファックス:0178-21-2119		
【参考URL】 https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/shokoka/zigyosya_sogyosyashien/3/2609.html		
令和5年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		平成13年度
		予算額
		4 536千円

岩手県	機関名	地方独立行政法人岩手県工業技術センター		
	部署名	産業デザイン部		
	電話連絡先	019-635-1115		
事業名	技術支援事業及び研究開発事業			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
研究成果や職員の専門的知識等を活用した技術相談、依頼試験への対応のほか、設備機器の貸出などを通じて県内の企業活動を支援しています。				
①復興支援	センターの持つ技術資源を活用し、企画、製品開発・技術開発、製品化、事業化までを総合的に支援します。			
②技術相談	新技術の照会、製品・原材料の分析や技術開発資金など、技術に関する様々な問題についての相談に応じます。			
③企業訪問	企業等の現場に直接職員が伺い、技術的課題の調査・解決に向けた助言を行います。			
④依頼試験等	各種分析・計測を行い、その結果を成績書として発行します。また、加工(デザイン加工含む)を行い、加工品をお渡します。			
⑤デザイン制作	企業等の希望により、デザイン制作を行います。デザイン創作を伴わない場合は、デザイン加工で対応します。			
⑥設備機器貸出	センターが所有する機器を貸出します。一部の機器は所外への貸出も行っています。			
⑦受託研究	企業等の希望により、センターが行う研究です。			
⑧共同研究	企業等の希望により、企業等とセンターが共同で行う研究です。			
⑨人材育成	講習会の開催、職員の講師派遣、研修生の受入などを行うことで、企業技術者等の育成を支援します。			
⑩研究員派遣	技術開発に係る試験、研究、分析、検査、評価などに関する技術支援のため、研究員を企業等に派遣します。			
⑪研究開発型人材育成支援	新商品開発や技術課題解決などのため、企業等の技術者を受入れ、研究開発及び人材育成を支援します。			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額	
継続して実施予定		-	-	

岩手県	機関名	地方独立行政法人岩手県工業技術センター	
	部署名	産業デザイン部	
	電話連絡先	019-635-1115	
事業名	デザインラボにおけるデザイン支援		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
市場において競争力のある魅力的な商品の開発を支援するため、平成 31 年 4 月に、デザイン支援拠点「IIRIDESIGN LAB(デザインラボ)」を設置しました。 デザインラボでは、岩手県内の製造事業者及びデザイナー等を対象に、「デザインの普及啓発」、「商品開発支援」、「デザイン手法・製品技術の研究開発」の3つの活動により、北国(岩手)の暮らしを創造するための支援を行います。 県内の製造事業者 - 工業製品製造事業者 - 工芸品製造事業者 - 食料品製造事業者 - 印刷・関連事業者 - その他の製造事業者 デザイナー等 - マーケティングディレクター - クリエイティブディレクター - プロダクトデザイナー - アートディレクター - グラフィックデザイナー - その他のデザイナー等 De.i IIRI DESIGN LAB 3つの活動内容 デザインの普及啓発 デザイン情報の発信(セミナーの開催、ウェブ等での情報発信等)、ワークショップ等の開催、商品開発プロセス導入支援 商品開発支援 商品企画 → 製品開発 → 製造 → 販売 デザイン相談、製造事業者向け支援、デザイナー向け支援、技術相談、依頼相談、設備・機材貸出等 デザイン手法・製品技術の研究開発 デザイン手法、選定技術、木材加工技術等に係る研究開発 関連機関との連携 北国(岩手)の暮らし【コト】 魅力的な商品の開発			
ホームページ https://www2.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/ Facebook https://www.facebook.com/IIRIDESIGNLAB/ Youtube https://www.youtube.com/channel/UCiJY8gogHccQAwUJJWHU45Q			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和元年度	-

岩手県	機関名	地方独立行政法人岩手県工業技術センター
	部署名	産業デザイン部
	電話連絡先	019-635-1115
事業名	IIRI DESIGN LAB (De.i)「まんずデザイン相談の日」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
開催日:毎月第3木曜日 時間:①9時～、②10時30分～、③13時30分～、④15時～ ※各回50分程度 場所:岩手県工業技術センターデザインラボ デザイン相談室 岩手県盛岡市北飯岡2-4-25 ※オンライン対応可 内容:デザインに関する技術等の相談 例:パッケージ、商品開発、集客、UI、宣伝・広告、web、材料活用、UX、 プロダクト、製品設計、グラフィック、自社技術活用、ブランディング、 商品企画、PR、加工技術、販売促進、ビジネスモデル、デザイン経営、等 対象者:商品開発、製造、販売、サービス、経営などの事業を行っている・行おうと 考えている企業・個人。 定員:各回1組(先着順) 相談員:産業デザイン部 研究員 参加費:無料 主催:地方独立行政法人岩手県工業技術センター 申込方法:電子メール ※詳細は岩手県工業技術センターデザインラボ HP に掲載。		
IIRI DESIGN LAB(岩手県工業技術センターデザインラボ)トップページ https://www2.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/ IIRI DESIGN LAB からのお知らせ https://www5.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/news.php?cat=0		
		
令和5年度実施予定		開始年度
令和5年9月から令和6年3月まで実施予定		令和5年度
		予算額
		-

宮城県	機関名	仙台市(仙台市産業振興事業団)
	部署名	経済局産業政策部中小企業支援課
	電話連絡先	022-214-7329
事業名	成長企業支援・販路開拓支援事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
【新商品/サービス開発支援】 付加価値の高い新商品/サービス開発による地域中小企業の活性化を目的として、マーケッターやデザイナーなどの複数の専門家によるチーム支援を行い、既存のビジネス手法の変更・改善に果敢に挑戦する意欲ある事業者を支援した。 ・支援実績 5 件  新商品/サービス開発支援でリブランディングした「森と蜂と」		
【第9回新東北みやげコンテスト】 東北の地域性を生かしたみやげ商品を表彰する「新東北みやげコンテスト」をオンラインで実施し、受賞商品を対象としたオンライン展示会や販売会の開催、広報媒体への露出により、商品の知名度向上を図り、販売を促進した。 ・応募商品数 236 件 ・最優秀賞 岩手缶詰株式会社「魚介のリゾット缶 3 種 3 缶入り」 ・優秀賞 3 社、特別賞 7 社、入賞 46 社 ・受賞商品販売会 5 回開催   <最優秀賞> 岩手缶詰株式会社「魚介のリゾット缶 3 種 3 缶入り」		
【ウェブサイト「暮らす仙台」運営】 地域中小企業の商品やサービスの認知度向上を図った。 https://www.siip.city.sendai.jp/kurususendai/ ・記事掲載数 83 件 ・ページビュー数 121910PV  「暮らす仙台」ホームページデザイン		
令和5年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		—
		予算額
		10 636 千円

宮城県	機関名	仙台市	
	部署名	経済局産業政策部中小企業支援課	
	電話連絡先	022-214-7329	
事業名	クリエイティブ産業情報発信事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
【クリエイティブ産業情報発信事業】 仙台を中心に活躍するクリエイターを取り上げたコラムやイベント情報等を発信するウェブサイトの運営、個人事業主向けインボイス制度講座の開催等を行った。 https://sendai-c3.jp/  仙台をクリエイティブでつなぐ ウェブメディア [SC³ on Site] Creation, Communication, and Collaboration in Sendai © 2023 クリエイティブ産業情報発信事業「SC3」ホームページデザイン			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成 18 年度	850 千円

秋田県	機関名	秋田県
	部署名	産業労働部地域産業振興課
	電話連絡先	018-860-2225
事業名	産業デザイン活用促進事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
【目 的】 県内産業の高付加価値を図るため、「あきた産業デザイン支援センター」を設置し、製品の企画段階から製造、製品化後のマーケティング・販路開拓に至るまで、県内企業を産業デザインの面から支援する。 【主な業務】 ○製品のデザイン、開発、制作技術に係る助言 ○市場開拓、販路拡大などマーケティングに係る助言 ○相談の内容に応じた専門家(デザイナー)の紹介・つなぎ ○公的助成制度等への申請に係る支援 ○産業デザインの普及啓発 など 【設置場所】 公益財団法人あきた企業活性化センター内 【人員体制】 産業デザイン相談員 2人 <参考 URL> https://www.idsc-akita.net/ <普及啓発> (1) 令和4年度デザインシンポジウム「あきたのものづくりとデザイン2022」 (主催:公益財団法人あきた企業活性化センター、共催:秋田県) 【目 的】 県内企業の「デザインの導入」による成功例について、具体例を用いてそのきっかけや、商品化・販売までの課題をどのように解決して来たかを公開することで、デザイン活用を促し、県内企業の自社商品の高付加価値化や競争力強化に繋げていく事を目的とする。 【日程・場所】 令和4年11月18日(金) あきた芸術劇場ミルハス 及び オンライン 【第 1 部】 演題:「作るから伝えるへ」 講師:佐藤木材容器 佐藤 友亮 氏 【第 2 部】 演題:「伝わる機会を作る」 講師:北のクラフトフェア実行委員長 木村 敦子 氏 【参 加 数】 41者(会場参加27者、オンライン14者)  (2) 知財・デザイン出張相談会 (主催:あきた企業活性化センター 後援:羽後町、北秋田市) 【目 的】 県内事業者への知財及びデザインに関する情報提供と相談機会の創出並びに「あきた産業デザイン支援センター事業」「INPIT 秋田県知財総合支援窓口事業」の新規支援先の開拓を目的に開催する。 【日程・場所】 令和4年10月24日(月):羽後町活性化センター 令和4年11月29日(火):北秋田市民ふれあいプラザ コムコム 【内 容】 ◇知財ミニセミナー 「知ってるようで知らない商標のこと」 ◇デザインミニセミナー 「売れない原因は魅力が伝わっていないから?—伝わるデザイン10のポイント—」 ◇個別相談会 【参 加 数】 ミニセミナー5者・個別相談2者(北秋田市民ふれあいプラザ コムコム) ミニセミナー6者・個別相談3者(羽後町活性化センター) 		
令和5年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		平成23年度
		予算額
		7548千円

秋田県	機関名	秋田県
	部署名	産業労働部地域産業振興課
	電話連絡先	018-860-2225
事業名	デザイン高付加価値ものづくり支援事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
(1) 展示販売会「澄む、くらす。ー秋田の手仕事ー」 (主催:公益財団法人あきた企業活性化センター、後援:秋田県) 【目 的】 伝統工芸事業者と発信力のある非伝統工芸事業者を同時に出展することによる対象顧客の裾野の拡大、露出機会の向上、顧客情報の収集を図る。 また、これまで出展実績のない場所での開催により、首都圏生活者に対し、比較的名度のある秋田の作家による手仕事品を更に PR するとともに、近い価値(自然素材・丁寧な手仕事)を持つ伝統的工芸品とも出会える機会とし、更なる知名度向上と新たな顧客開拓を目指す。 【会 場】 銀座 イ東屋 別館 K itoya1階(東京都中央区銀座2丁目7ー15) 【日 程】 前期:令和4年7月16日(土)から7月31日(日)後期:令和4年8月2日(火)から8月15日(月) 【出 展 者】 10者(秋田県内国指定伝統工芸品4者、個人作家6者) <前期> 伝統工芸品:秋田杉桶樽/川連漆器 個人作家:佐藤木材容器(秋田杉大皿)/坂本喜子(鍛金の装身具等)/ 弥生屋(注染のオリジナル浴衣・手ぬぐい等) <後期> 伝統工芸品:大館曲げわっぱ/角館樺細工 個人作家:田村一(青白磁の器)/渡邊葵(海鼠釉の器)/藤田美帆(かぎ針編みのアクセサリー) 【来 場 数】 4,546人(前期2,466人、後期2,080人)		
   		
(2ー①)「工芸品とデザインをめぐる意識調査」及び「工芸 Photo コンテスト」 (主催:あきた企業活性化センター 後援:秋田県) 【目 的】 秋田県内の伝統的工芸品の使用実態、購入者が感じている価値の情報収集を行い、多様な視点から読み解き、県内伝統的工芸品事業者の商品開発や販路拡大に伴うPR戦略づくりの手掛かりとする。 同一テーマにて「シンポジウム」も実施する。 【期 間】 令和4年11月16日(水)から12月7日(水)まで 【回 答 数】 202件(194人) <参考 URL> https://info8279083.wixsite.com/website-6		
(2ー②)ものづくりの未来を探るシンポジウム「私の好きな秋田の手しごと」 【日程・場所】 令和4年12月21日(水) あきた芸術劇場ミルハス 及び オンライン 【内 容】 i コンテスト入賞者の発表 ii 意識調査及びコンテストを通じて得られた結果等をトークテーマとしたパネリストによる今後の産業デザインのありかた等についての意見交換 【参 加 数】 27者(会場参加23者、オンライン4者) <参考 URL> https://info8279083.wixsite.com/website-7		
    		
令和5年度実施予定		開始年度
令和4年度で事業終了		令和4年度
		予算額
		928 千円

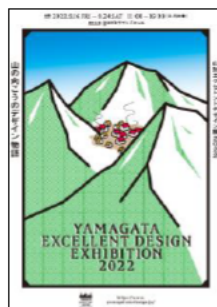
山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2137
事業名	山形エクセレントデザイン事業	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

県内製品を対象とした顕彰事業「山形エクセレントデザイン」を平成9年度に開始した。現在は隔年開催としており、令和3年度に 12 回目となる「山形エクセレントデザイン 2021」を実施し、令和4年度には同受賞製品を展示する「山の向こうのデザイン物語 山形エクセレントデザイン展 2022」を開催した。

■山の向こうのデザイン物語 山形エクセレントデザイン展 2022

主 催:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)
 協 力:株式会社旅籠町開発、東北芸術工科大学(みちのおくの芸術祭「山形ピエンナーレ 2022」)、株式会社 Q1
 内 容:山形エクセレントデザイン 2021 受賞製品の展示、
 トークイベント『審査委員に聞いてみよう!「新たなビジネスを生むデザイン」』、ワークショップ
 期 間:令和4年9月 16 日(金)~9月 24 日(土)
 会 場:gura ラウンジホール



■山形エクセレントデザイン 2021(参考)

実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)
 内 容:魅力的で競争力の高い製品づくりとデザインマインドの向上を目指し、県内で企画・開発・生産された優れたデザインの製品や取組みを選定・顕彰する。

募集期間:令和3年7月 20 日(火)~9月 10 日(金)

募集対象:過去5年以内に、県内で企画・開発・生産され、令和5年 12 月までにユーザーが購入または利用できるもの・こと
 応募数:88 点

審査委員長:長谷川 敦士(武蔵野美術大学 教授/株式会社コンセント 代表)

審査委員:宇南山 加子(株式会社 SyuRo 代表)、酒井 聡(東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科教授)、
 原田 祐馬(UMA/design farm 代表)、吉泉 聡(TAKT PROJECT 株式会社 代表/デザイナー)

選定結果:

○エクセレントデザイン大賞「買い物支援システムとローカルロジスティクスによる地域活性化のためのデザイン」
 (株式会社チャンピオン)

○準大賞(3点) 「STON3」(株式会社エスパック)
 「CHUCKING HERO」(株式会社後藤精機)
 「チェア「bambiF-3249」」(株式会社天童木工)

○環境デザイン賞 「プラスチック材質判別装置「ぶらしる」」(株式会社山本製作所)

○パッケージデザイン賞 「赤おに印のたかはたつや姫」(「高畠つや姫」ブランド確立対策協議会)

○プロジェクトデザイン賞 「はけごバッグ」(沢原はけごの会)

○ローカルデザイン賞 「山形山菜さとやまソルトセット」(特定非営利活動法人なでらの森)

○入賞(8点) 「AndMERCi大石田店/アトリエ(工房)」(株式会社AndMERCi)、
 「みさきの一軒家」(株式会社岡さき)、「k-hour project」(金山町)、
 「小嶋総本店 米糴のあまさけ」(株式会社小嶋総本店)、
 「山形のドライフラワー専門店 sankal」(株式会社サンカ)、
 「上山市久保手地区にあるワイナリー「ベルウッドヴィンヤード」のワインづくりとワイン達」
 (株式会社ベルウッドヴィンヤード)
 「米沢緞通チェアラグ「sakuranbo」,「name」,「ushi」」(米沢絨毯株式会社)
 「THISISASWEATER A SWEATER IS ORDINARY」(米富繊維株式会社)

<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

<https://www.yamagatanodesign.jp/>

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
13 回目となる「山形エクセレントデザイン 2023」を実施 (大賞・特別賞・入賞製品の選定、表彰式の開催を行う。)	平成9年度	3 391 千円

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2137
事業名	販路開拓支援事業”ブラッシュアップスクール”	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

「山形エクセレントデザイン 2021」受賞企業および奨励企業の販路開拓を目的とし、売り場視点からのブラッシュアップと販路開拓手法を学ぶ勉強会を開催するとともに、東京インターナショナル・ギフト・ショーに出展し、販路開拓を行った。

実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)

■ブラッシュアップスクール

内 容:講師による講話及びアドバイス、受講者によるグループ討議

期 日:令和4年5月～令和5年3月(計5回開催)

会 場:山形県工業技術センター

受 講 料:無料

参加企業:7社(山形エクセレントデザイン 2021 受賞企業、奨励企業)

講 師:日野 明子(スタジオ木瓜 代表)、會田悠城 氏((有)ヒカルマシナリー)、土田有里子 氏(フリーカメラマン)



■東京インターナショナル・ギフト・ショー出展

期 日:令和5年2月 15 日(水)～2月 17 日(金)

会 場:東京ビッグサイト

出展負担金:2万円(出展料の他、旅費・宿泊費については各自負担)

出展企業:6社(山形エクセレントデザイン 2021 受賞企業、奨励企業)



< 事業に関する情報が掲載されているサイト URL >

<https://www.yamagatanodesign.jp/>

令和5年度実施予定 継続して実施予定	開始年度	予算額
「山形エクセレントデザイン 2023」の受賞企業・奨励企業を対象とした ブラッシュアップスクールを開催	平成 27 年度	3,391 千円 (前頁山形エクセレントデザインの一部として実施)

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-2137
事業名	デザイン活用促進事業“デザ縁”	

事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)

県内企業のデザイン力向上と積極的なデザイン活用を図るため、企業とデザイナーによるマッチング会を行う。企業とデザイナーの良好な関係を構築し、県内ものづくり企業がデザインを活用した自社製品開発に取り組むきっかけをつくる。

実施主体 山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)

■デザ縁(企業とデザイナーのマッチング)

内容:県内外のデザイナーによる県内製造業者のマッチング会を実施する。

期日:令和5年3月7日(火)

会場:山形県高度技術研究開発センター

参加者:製造業、サービス業、農業法人、行政機関等 82名

デザイナー:吉野敏充デザイン事務所(新庄市)、はんどれい(株)(鶴岡市)、humming DESIGN(鶴岡市)、菊地純(南陽市)、Strobelight (大江町)、(株)nanoha(山形市)、デザイン山形(山形)、(同)DESIGN STUDIO K(山形市)、竹永絵里(山形市)、(株)コロノ(天童市)、anori(山形市)、(株)アトリエツナ(山形市)、(株)アーキテクチャランドスケープ(山形市)、青木亮太(朝日町) 【14組 19名】



■オンライン“デザ縁”

内容:県内で活躍するデザイナーを紹介する「オンライン“デザ縁”」のホームページを運営し、オンラインで県内企業とデザイナーのマッチングを行った。



<事業に関する情報が掲載されているサイト URL>

<https://www.yamagatanodesign.jp/>

令和5年度実施予定	開始年度	予算額
継続して実施予定	平成 27 年度	3,391千円 (前頁山形エクセレントデザインの一部として実施)

山形県	機関名	山形県	
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課	
	電話連絡先	023-630-2137	
事業名	デザイン思考イノベーション創出事業(やまがた&Dプロジェクト)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
県内企業の経営者、リーダー層等を対象に、東北芸術工科大学の学生と交流しながら、デザイン思考で自社の“アフターコロナ、次の一手”を考える勉強会を開催する。また、東北芸術工科大学学生との交流を通じて、双方の魅力の共有とコミュニティの形成を促し、県内におけるクリエイティブ人材の育成と活用を目指す。 実施主体:山形県 ■デザイン思考イノベーション創出事業(やまがた&Dプロジェクト) 内 容:企業側は自社の課題の探究、学生側は若者の視点を活かした課題解決のためのアイデアを創出し、企業側に提案する。 参 加 者:デザインセミナー参加企業 22 社、勉強会参加5社、学生 15 名 企 業 チーム 講 師 石川 俊祐(株式会社 KESIKI 共同経営者) 学生チーム総指揮:中山 ダイスケ(東北芸術工科大学 学長)			
  			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		令和3年度	1,396千円

福島県	機関名	福島県	
	部署名	観光交流局県産品振興戦略課	
	電話連絡先	024-521-7296	
事業名	進化する伝統産業創出事業(クリエイター育成事業)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
1 ふくしまクリエイティブクラフトアカデミーの開講・運営 県内の伝統工芸・地場産業に携わる人材が、デザイン・マーケティング・ブランディング・商品開発等にかかる知識を習得し、販売力強化に向けたスキルアップを図る場として、「ふくしまクリエイティブクラフトアカデミー」を開講。 ①受講対象：県内の地場産業に携わる職人・事業者・組合等、県内の地場産業の担い手を目指す者 ②受講者数：23名(令和4年度) ③内容：ブランディングやデザイン等に精通した外部人材を講師とし、ワークショップ、講義、修了式・成果発表会のカリキュラムを実施した。また、開発商品のテストマーケティングに取り組んだ。			
			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成28年度	30,421千円 (R4年度)

福島県	機関名	福島県	
	部署名	観光交流局県産品振興戦略課	
	電話連絡先	024-521-7296	
事業名	「売れるデザイン」イノベーション事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
1 ふくしまベストデザインコンペティションの実施 県産品のパッケージデザイン等の向上による商品力強化を目的に、「パッケージ」「ネーミング」「商品企画」へのデザインの活用を図り、消費者に伝わる訴求力の高い商品を創出するため、優れたデザインを表彰するコンテストを実施する。 ○ 対象商品 ①生産、製造または加工の最終段階を県内で行っている商品。 ②主な原材料が福島県産であって、県外の事業者等により製造された場合は、県内に主たる事業所を有する者が販売を行っている商品。 ○ 審査委員 小山薫堂、眞鍋かをり、国井美果、鈴木正晴、鈴木順之、菊地敦己、(公財)福島県観光物産交流協会理事長、県観光交流局長 ○ 表彰部門 ・パッケージデザイン部門 ・キャッチコピー・ネーミング部門 ・プロダクトデザイン部門 ・クリエイターズバンク部門 ○ 賞 ・グランプリ 1者 ・ゴールド 各部門1者 ・シルバー 各部門1者 ・ブロンズ 各部門1者 ・審査委員特別賞 1者 ・ロングライフデザイン賞 1者 ・イノベティブデザイン賞 1者 ○ 専用 HP https://fbdc fksmdesign.com/  2019-20 グランプリ さんま ささ干  2020-21 グランプリ 赤べこ絵付けキット  2022-23 グランプリ 福島県内 六酒蔵酒粕 ジェラートセット			
2 クリエイターズバンクの運営 県産品のパッケージデザイン等の向上による商品力強化を目的に、「パッケージ」「ネーミング」「商品企画」等へのデザイン活用を図り、消費者に伝わる訴求力の高い商品の創出や効果的な販路開拓に繋げるため、事業者とクリエイターとの出会いの場をつくり、マッチング支援を行う ○ 事業概要 ふくしまクリエイターズバンクに登録するクリエイターと、デザイン活用を図りたい事業者のマッチングを行い、協業による新パッケージや販促物等の開発、ブランディング支援等を行う。 また、事業費の一部(事業者がクリエイターへ支払うデザイン開発経費等のうち半額(最大10万円))を県が支援する。 ○ 募集対象者 ①事業者 対象商品(県産品(生産、製造又は加工の最終段階を県内で行っている商品)として県内外で販売されているもの、または今後販売予定のもの。)の生産又は製造を行う県内事業者 ②クリエイター 日本国内在住で、3年以上の実務経験及び実績を有する者。 ○ 専用 HP https://fcb fksmdesign.com/			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成30年度	17,065 千円 (R4年度)

東北経済 産業局	機関名	東北経済産業局	
	部署名	地域経済部産業技術革新課知的財産室	
	電話連絡先	022-221-4819	
事業名	TOHOKU デザイン創造・活用支援事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
1 目的 デザインの創造・活用による東北地域の商品の販売促進・ブランド化を図るべく、EC 市場の拡大に伴うパッケージデザインの果たす役割の変化及び重要性の高まりを踏まえ、デザイナー及び外部有識者の参加によるワークショップ等を通じて、東北地域における商品のパッケージデザイン等を新たに作成するための支援事業を実施する。 2 実施内容 新パッケージデザインの対象となる商材を提供する東北管内企業について、公募により5社選定。 外部有識者の意見も踏まえて当該商材の新パッケージを作成するデザイナーを選定し、企業・デザイナー・専門家によるワークショップ形式で、商品の魅力を深掘しながらパッケージデザイン案を作成。			
before  after  対象商品の例 「骨まで食べる三陸魚のお魚セット」			
令和5年度実施予定		開始年度	予算額
令和4年度で事業終了		平成26年度	—